

ラーニングテクノロジー開発室

ニュースレター

人とサイト

e-ラーニングの先駆者 丹羽時彦「放課後の数学」

丹羽先生は関西学院高等部の数学の先生で、インターネット上に「放課後の数学入門」というサイトを置いていることで早くから知られている。ご自分の高校で、数学の学習に苦勞している生徒や、余儀なく自宅学習のはめになった生徒のためにできることはないか、と考えたのが発端で、電子教材を作り始めてから、もう二十年近くになる。インターネットが普及していなかった頃なので、フロッピーが師弟の間を行き来していたというエピソードもある。

丹羽先生の教材はJavaによる手作りです。ところどころにラクダや魚がぴょこぴょこと動き回るユーモラスな挿絵もついて愛らしいが、「しっかりした立派な教材だ」と数学の専門家から称賛されているし、情報処理学会では、早くから高い評価を受けている。

丹羽先生の教材のすばらしさは、学習内容第一で考えて作られているところにある。代数操作の分野では反復学習教材として使っているし、初等関数や微積分の分野では、グラフを見せるだけでなく、マウスを介して、手の動き、つまり学習者の意図が伝わる

という「学習の身体性」が実現され、成功している。

2000年頃から始めた統計学の教材も秀逸である。従来は机上の理論的な学習が中心だったところに、コンピュータで大量なデータを持ちこんで、統計的推測の有効性を体感させた作品は秀逸であり、高校の補習教材を超えた電子教材として大学でも使われ、製品版も出ている。

「こんなショウモナイものを作ってまして」と関西弁で恥ずかしそうに話し始める丹羽先生の発表は、情報関係、教育関係では既に有名だが、本学の皆さんには、先生の元祖「放課後の数学入門」のサイト (<http://www.kwansei.ac.jp/hs/z90010/hyousi/2106.htm>) の「§0はじめに」を、是非ともごらん頂きたいと思う。「インターネットで数学が学べるものだろうか？」という疑問を、10年前にすでにご自分の問題として設定した上で、e-ラーニングを開始なさって、現在もその有効性の検証と学習効果の向上に努力しておられるのである（武井恵雄）

NEWS

◆ 今後のLTセミナー

2005年度後期は以下のようなテーマでセミナーの開催を予定しています。事前申し込みは必要ありません。詳細はポスターやLT開発室のウェブサイトにてお知らせいたしますので、そちらをご覧ください。

☆10月のLTセミナー

「eラーニングは数学教育になじむか？」

10/25(火) 13:30~15:30

本部棟2号館2F 201室

☆11月のLTセミナー

「授業改善セミナー」

11/10(木) 13:20~

本部棟2号館2F 201室

いずれも宇都宮キャンパスで行います

LT 開発室では、LT セミナーで扱ってほしいテーマを募集しています。電子メールなどでご連絡ください。

◆ 授業改善に関する話題提供を募集します

「授業改善セミナー」は、教職員の皆様のこれまでの授業実践の考えやその結果について話題提供をしていただき、会場の参加者との情報の共有や、意見交換を通じて、授業の改善に役立てる事を目的としたセミナーです。

話題提供の内容は実践の成果や計画段階のもの、授業改善のタネでもOKです。ぜひご応募下さい。

【応募先】 LT-Support@LT-Lab.teikyo-u.ac.jp

【応募締切】 10月20日(木)

◆ WebCT研究会のご案内 (事前申込10月31日まで)

11月24日(木)~25日(金)に第3回WebCT研究会in福井が開催されます。

全国の大学でのWebCTの活用例を知ることができるチャンスです。ぜひご参加ください。詳細は日本WebCTユーザ会のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.webct.jp/>

◆ 私情協 大学等電子著作物

権利処理事業のご案内

私立大学情報教育協会による大学等電子著作物権利処理事業が2005年10月1日からスタートしました。この事業は、大学・短期大学及び所属教職員を対象に、電子教材を相互に利用するための著作権処理をオンラインで自動化し、教材・資料等の豊富化と、相互利用による通用性の向上を目的としています。詳細は下記の私情協のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.juce.jp/crdb/>

◆ NIME 平成17年度研修講座のご案内

メディア教育開発センター(NIME)では、メディアを活用した教育に関係する教職員等を対象に、IT教育の実践的能力および知識の取得を支援し、ITを活用した中核的な人材養成やIT教育を支援する教職員の資質向上を目指した研修(参加費無料)を行っています。平成17年度は、インストラクショナルデザイン、e-Learning、著作権など、実践に役立つ各種研修講座が企画されています。詳細は下記のNIMEのウェブサイトをご覧ください。

<http://www.nime.ac.jp/KENSYU/index.html>

◆ LTセミナー「ティップス先生と学ぶ授業デザイン」を開催しました

7月29日(金)に、「成長するティップス先生 ー授業デザインのための秘訣集ー」の著者のお一人である中井俊樹先生(名古屋大学高等教育研究センター)をお招きしてセミナーを開催しました。沖永佳史学長はじめ約40名が参加しました。また、近隣の大学からのご参加もあり、多くの方が授業改善に高い

関心をお持ちであることがうかがわれました。

◆ LTセミナー「WebCTで拡げる授業」を開催しました

8月30日(火)と9月6日(火)の2日間、本部情報センターと共催で板橋キャンパスにおいてWebCT活用に関するセミナーを開催しました。大学の授業を支援するコース管理システムWebCTの概要の説明と基本的な操作実習を行いました。

ディスカッションでは著作権の問題に関心が集まりました。受講者の一人は、「帝京大学の中にWebCTを取り入れて広げていく必要性も分かりました。著作権の問題が難しいとは思いますが、できる部分から始めていけばいいんだということが分かりました」という感想を述べていました。

LTセミナーについて、より詳しくは、LT開発室ウェブサイトをご覧ください。帝京大学内からは、LTセミナーの資料や講演ビデオなどを閲覧することができます。

WebCT活用授業レポート

キャリアデザインにおける授業の試み

今回は、理工学部の横山明子先生にお話をうかがいます。

LT 早速ですが、「キャリアデザイン」とはどのような授業でしょうか。

横山先生 「キャリアデザイン」は1年生の選択科目で、専門分野についての関心を高めたり、自分自身を理解することなどを通して、将来の進路を考えるための準備をしようという授業です。

この科目は多くの先生方が関わられており、学長先生から帝京大学のあらましや学生生活と社会生活についてのお話がありましたし、キャリアサポートセンター、学生相談室などの方々も関わっています。各学科の先生方からは、学ぶことの意義や学習の進め方、実際に体験されたお話などをしていただいています。講義の他に、ビデオを視聴したりですとか、将来計画を作成するなどの作業も行いました。

LT 具体的な学習方法を知ることも大切なことですね。その中でどのようにWebCTが使われたのでしょうか。

横山先生 授業が終わったら、講義を録画したビデオやスライドを載せています。一度授業で見た資料でも、あとから見直せることが好評でしたね。出さ

れた質問への回答を載せることもありました。すべての授業を載せることはできませんでしたが、主体的に学習を進めたり、学習する習慣を付けるのに役立っているようです。もっと多くの学生が活用できるようにしたいですね。

LT 今後はどのような可能性をお考えでしょうか。

横山先生 活用の幅を広げることを考えています。Webを紹介することで可能になることとして、たとえば先輩達の話の聞いたり、質問したり、相談にのってもらったりというコミュニケーションの場として活用する方向もあると思います。また、「キャリアデザイン」で扱ったことは、学生生活全体を通して考えたり実行したりすることですから、授業が終わった後も継続的にサポートすることも考えられます。

LT そうですね。時間や場所の制約が少ないからこそできることもあるかと思います。ありがとうございました。

ご紹介した「キャリアデザイン」のWebCTコースの一部を、コンテンツショーケースに登録していただきました。ぜひご覧ください。

編集後記 2周年記念ということでニュースレターのデザイン変更を行うことになりました。今までポスターやちらしなど色々なものを作ってきました。読みやすさや見易さを考えながら何かを作っていくのは、楽しいのですがとても難しく毎回頭を悩ませています。どなたかコツを教えてください(及川)



ラーニングテクノロジー開発室連絡先 <http://www.LT-Lab.teikyo-u.ac.jp/>

字都宮キャンパス本部棟2号館2F 202室 028-627-7243 (直通)

◇室員：武井 恵雄(室長)、渡辺 博芳、古川 文人、高井 久美子、及川 芳恵

◇一般のお問合せ：LT-Staff@LT-Lab.teikyo-u.ac.jp

◇技術的なサポート：LT-Support@LT-Lab.teikyo-u.ac.jp

